

学内ニュース



振り返ればエコロジカルだった、今年の琉大祭

法文学部 教授 伊波 美智子

10月8日（土）と9日（日）、2年ぶりに琉大祭が復活した。出店数は一昨年の130余から50と大幅に減少、出展数からみれば半分以下のコンパクトな学園祭。一夜明けて10日（月）は後片付けの日一そこには「奇跡！」と言いたくなるような思いがけない光景が出現していた。ゴミの山がない！屋内外のゴミはきれいに拾われてゴミ箱は空になり、ゴミ集積所もきれいに片付けられ、キャンパスは学園祭の前よりきれいになっていた。

実行委員会をはじめとする参加団体の学生たちと指導にあたった学生部事務局、そしてリサイクル業者等の連携のたまものである。

資源とゴミを分別...

ゴミを出さない、作らない工夫（その1）

学園祭では会場にごみ箱を置かず、各店でごみを回収・分別してごみ集積所に持っていくように指導され、ゴミ集積所では環境美化委員が分別の状況を点検した。分別されたダンボールや空き缶は午前中にリサイクル業者に引き取られ、コンテナも早々と撤去された。



分別作業をする学生たち

数年前まで、琉大祭の後はゴミがそこそこに散らかり、飲食品の汚水で廊下は汚れ、トイレがつまり、ドアが壊されることもあるなど、荒れていた。関係者も祭りの後は仕方がないと半ば諦めていた。ゴミ集積所では、生ゴミや空き缶、紙皿、紙コップ、割り箸等がビニール袋やダンボール箱にごちゃまぜに詰め込まれ、ダンボールや板切れ等と一緒にコンテナから溢れだしていた。分別されていないゴミは廃棄物処理業者が引き取るのを嫌がり、一週間もコンテナにつまられたゴミの山が放置されていることもあった。

生ゴミの量が激減...

ゴミを出さない、作らない工夫（その2）

例年、大学祭で出る廃棄物の中でももっともやっかいなのが生ゴミだった。残飯をトイレに流す、排水溝につっこむ、あるいは他のごみと一緒にビニール袋に入れて捨てる...結果的にキャンパスは汚くなり、山とつまられたゴミは悪臭を放っていた。



「ゆいまる」と大城さん（右）、金城さん（左）



生ゴミからできた堆肥

生ゴミ処理については、平成14年から（有）大城環境開発さんが大型生ごみ処理機「ゆいまる」を無償で提供して下さっている。行き場のなかった生ごみは堆肥化され、農学部の農場で使われてい

る。琉大祭の前日に「ゆいまる」を設置し、片付けの日まで、都合4日間も終日手弁当で来てくれる大城さんには感謝で頭が下がる。琉大はこのような方たちに支えられているのだと思う。

堆肥化处理した生ゴミ量は、平成14年は265kg、平成15年は220kgだった。しかし今年は生ゴミの量が激減した。残飯がほとんど出なかったのである。飲食店が大幅に減ったことが大きな原因だと思われる。拍子抜けしてしまっただが、ごみが少ないというのは嬉しい。最終的に処理した野菜くずや残飯は55kgにとどまった。前回の4分の1である。

使い捨て容器を使用しない...

ゴミを出さない、作らない工夫 (その3)

前回及び前々回、使い捨て容器を減らす試みとして洗わずにリサイクルできる紙容器 (ホッকার) が実験的に導入された。今年は、那覇市からエコフレンド号 (食器洗浄車) を借りた団体があった。これは、熱湯で瞬時に食器を洗浄し乾燥する優れものである。食器を繰り返し使用すればゴミを出さずにすむ。来年は使用団体が増えることを期待したい。

エコ学園祭への進化

3年前、エコロジカルキャンパス推進学生委員会 (琉大ブラウニーズ) が法文棟を中心にゴミの分別とリサイクル推進を試みた。2年前、琉大ブラウニーズは会場内12ヶ所にリサイクルボックスを設置し、終日リヤカーを引っ張ってゴミを片付けた。いたるところに積み上げられたゴミの山が景観を悪くしている、クリーンな琉大祭を実現して琉大生及び来場者の環境意識向上の機会にしよう、という思いからであった。

結果として、今年の大学祭廃棄物処理費用は大きく減少した。平成15年は76万5千円、そして今年は47万9千円と、30万円近い節約である。コンテナ単位で処理料金が支払われるために正確なゴミ量は把握できない。しかし、料金の減少以上に重量は減ったと思われる。

環境の変化に対して突然変異が起こり、進化が進むといわれる。奇跡は起こるのである。廃棄物処理に関していえば、今年は見事であった。大学祭関係者が自主的・自発的にここまでやれるのであれば、エコロジカル・キャンパス推進委員会の出る幕はない。これこそエコロジカル・キャンパス推進委員会が目指すものであり、教職員と学生の意識が高まった時は、すなわち、エコロジカル・キャンパス委員会が必要なくなる時である。その日は案外近いかもしれない、と大学の未来に明るい希望を見出した今年の琉大祭であった。



ゴミ分別表 (琉大祭実行委員会作成)